



※卒業文集に寄稿したものを紹介いたします。

将来の夢

四、五歳の幼児に将来の夢を聞くと、現実とはかけ離れた答えが返ってくる場合があります。アニメやテレビドラマの主人公に本気でなりたいと思ったり、おいしいものが食べられると思ってレストランで働きたいと思ったりなど、ほほえましいものです。しかし、それとあまり変わらない姿が、若者の中に見られることがあります。

教師を主人公にしたテレビドラマが流行した後、教師を目指す若者が増えたことがありました。教師に限らず、人気ドラマで取り上げられた職業に関しては同じような現象が起こっています。このことは、決してほほえましいこととは思えません。

現在、私たちの日常生活の中には多くの情報が氾濫しています。私たちの行動は、その中でも、テレビやネットを中心にした刺激の強い情報に左右される傾向があります。誇張されていたり、偏っていたり、悪意を持って操作されている場合さえあり、私自身も、多くの情報の中から自分にとって必要な情報を選択し冷静に判断しているかどうか、日々見つめ直してやる必要があると感じています。

小学校卒業に際して、「将来の夢」について、改めて考えている人も多いでしょう。純粋な憧れを大切にしながらも、その夢が本当に自分のものなのかどうか、自分に問いかけながら進んでいってほしいものです。保護者をはじめ、信頼できる大人の助言を参考にすることも大切です。

これから夢を抱き将来に向かって歩いていく皆さんには、中学校での学習や部活動、地域での活動など、様々なことに意欲的に取り組みながら、視野を広げていってほしいと思います。

..... 切り取り線

学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など

2022年3月17日（ ）年（ ）組 児童氏名

※匿名でも結構ですが、御連絡が必要な場合等を考え、記名していただけるとありがたいです。

※担任に御提出いただいても、校長室前のポストに直接入れていただいても、校長に直接手渡していただいても、いずれでも結構です。